

令和2年度 教育研究業績書

氏名 太田 仁

最終学歴	関西大学大学院社会学研究科社会心理学専攻 博士課程修了(公認心理師)	
取得学位	博士(社会学)	
所属学会	日本心理学会、日本社会心理学会、日本教育心理学会、日本自殺予防学会	
専門分野	社会心理学(対人関係の心理学 特に援助行動)	
研究課題	援助授受と生きる意欲との関連性、自殺予防のための対人関係	
授業科目	学部担当科目	<ul style="list-style-type: none"> ・社会・集団・家族心理学(公認心理師科目) ・対人社会心理学(出会・恋愛・結婚の心理学) ・社会心理学特論(日常の対人関係から支えあえる対人関係へ) ・社会心理学演習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ(一) ・社会心理学特殊講義(三)(自殺予防の心理学)基礎演習Ⅰ(二)
	大学院修士課程担当科目(博士前期課程含)	<ul style="list-style-type: none"> ・応用社会心理学特論Ⅰ(援助行動・被援助行動・援助要請行動の理解と応用) ・応用社会心理学特論Ⅱ(依頼と説得の心理学)
	大学院博士後期課程担当科目	
	通信教育部担当科目	<ul style="list-style-type: none"> ・心理学基礎
【研究上の特記事項】	<p>・援助授受により成立する対人関係の調査。実験研究を長年蓄積している。使える、役立つ心理学研究を身上とし、科学的エビデンスに基づく実証主義的心理学研究とその成果の実践への適用を循環させる研究スタイルが特色である。具体的には、調査しやすい大学生のみを対象とした研究ではなく、社会問題が生起する現場での参与観察やインタビュー調査に基づき質問項目を選定し、現場との共同で対人関係の実態検証を経て社会的妥当性を高めることを最重視する。そのスタイルが評価され、行政の専門部会、教育委員会、社会福祉協議会、人権団体、病院等医療現場や企業職場研修等からの講演依頼は年間平均20回を超える。</p>	
【教育上の特記事項】	<p>日常生活に活かす心理学が教育の根幹である。したがって、受講者の生活実感に取材した授業進行が特色である。特に、受講生の日常の対人行動や対人感情が個人の将来的展望にどのように影響するかについて対人間関係の心理学から「追体験」講義を展開する。自分と出会い、支えあえる人と出会い、社会の一員として役立つ自分を実感できる授業構成となっており、受講生からは、楽しく、役立つ授業と好評である。</p>	
【社会的活動】	<ul style="list-style-type: none"> ・自殺予防の実践研究者として 各府県の教育員会、福祉協議会を通じて、自殺予防の実践として「ゲートキーパー」活動の有用性を啓蒙し続けている。意欲の活性化を促す講義・講演として人権教育の観点からの依頼も多数受けている。 ・コロナ禍における自殺者数の増加は、輻輳的な要因があるものの、絶望によるものが核にある。絶望に至る、プロセスを個別に詳細に検討し、状況即応的な対人援助について各方面での助言、実践に研究日および休日を活用している。 	
【学内活動】 (学内職歴を含む)	入試・広報委員、学生相談員、公開講座	

研究業績[著書、学術論文等]				
著書、学術論文等の名称	単著、共著の別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称	概要
(著書) ①常識を疑う心理学	共著	2021年3月	ナカニシヤ出版	編集および第1章なぜかモテる子モテない子を執筆し、支えあえる喜びを共有できる対人関係の諸相について平易な文体で説明を試みた。本書の出版前からネット関心がもたれ、本学志望への契機を促した。
(学術論文) ①援助者の負債感が自殺予防の判断に与える影響について	単著	2020年2月	奈良大学紀要第49号	自殺予防の最前線としてゲートキーパーとしての役割が期待される民生委員児童委員4500名を対象とした、質問紙調査により、自殺に傾く人への適切な援助の実行には、個人の被援助成功体験が重要な役割を果たすことを実証した。
(学会発表) ①援助態度が自殺予防活動に与える影響について①	共同	2020年9月	日本心理学会第84回大会 於)東洋大学	web開催となり9月8日までにHPで公開され、1ヶ月の質疑期間が設けられた。4500名の民生児童委員を対象とした、自殺予防に関する妥当性の検討と援助実行に与える個人の援助要請態度の影響について報告した。
②強迫傾向による援助要請態度への影響	共同	2020年9月	日本心理学会第84回大会 於)東洋大学	洗浄強迫傾向は依存的な援助要請態度を有し、侵入思考的強迫傾向は自立的援助要請態度に対して防衛的であることを質問紙調査により実証したことを報告した。
その他 ①危険物新聞(月刊誌)への連載 ②wihコロナ社会の対人関係 ③学校再開後の子ども達へのアドバイス ④学校再開！専門家に聞く子どものメンタルケア	単独 単独 単独 単独	2015年4月～2021年3月 2020年5月22日 2020年6月 2020年6月	公益財団法人大阪府危険物安全協会 ラジオ出演(ならドットFM) 「ひるラジ！784」 日本教育新聞 第3面全面掲載 奈良テレビ 「ゆうドキッ！」	防災思想普及啓発のため発行されている本紙において【人生の危機！その時あなたは、どう助け合う】のテーマで記事を担当し昨年度はコロナ禍の心理的衛生について連載した。 コロナ禍における対人関係と心理的影響について早期の指摘を行いこの放送にが嚆矢となり各方面から取材を受けることとなった。 全国の教育委員会、小中高校で購読される本誌のじっくりインタビューにてコロナ休校明けの学校での児童生徒および教員集団、家族集団のケアとサポートについて報告した。 コロナ休校明けの児童生徒の心理的理解と援助について、アナウンサー及びコメントータからの質問に回答した。

⑤『「新型コロナ」不安に打ち勝つために』	単独	2020年6月	奈良県の子育て情報誌「ことまま」	園再開後、子どもの退行現象や登園しづりについて子どもの理解や子育て中の親の不安について誌面カウンセリング原稿を提示して好評を得てネットでも紹介された。
⑥学校再開 子供と教員のメンタルヘルス	単独	2020年6月	・産経新聞 ・Yahoo news	コロナ休校明けの児童生徒と教師のストレスと心理的ダメージについて詳細に説明し、その理解と援助についてコメントした。 コメントの妥当性からネットニュースでも講評を博し、多くの評価を得た。
⑦大阪府堺市人権啓発冊子監修	単独	2021年1月	大阪府堺市教育委員会	コロナ禍における対人関係と心理的影響について疑心暗鬼から先入観・偏見・差別が生成されるプロセスと一般市民に理解されるように丁寧に説明をし、冊子にまとめた。
⑧ 福祉援助の核	単独	2021年1月	産業情報新聞社	援助とは、人との関係にもとづき、その人が求める援助が求めるときに実行されることにより最も有効な救済となることを年頭所感として記事にまとめた。